

第1回・第2回市民ワークショップ 運営に関するご意見のまとめ

市民ワークショップ、郡中小学校ワークショップにおける公民館運営関連意見のまとめ

1. 方向性・コンセプト

<p>誰でも気軽に使える</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の名称を考えて。公募。地域外の人も利用。 ・気楽に利用できる施設であってほしい。 ・なるべく手軽に使えるようにしてほしい。 ・地域住民の交流の場に。 ・高校生と中学生と小学生も利用できるように。交流の場として。 ・保育園児たちの利用ができるように。 ・公民館でもここはおかたいイメージ。気軽に利用できる公民館を。 ・もう少し、公民館も楽しい所とアピールできたらいいと思う。まだかたいイメージがあります…。 ・多目的スペースを特定の団体だけでなく、より多くの人達が利用できるようにしてほしいと思う。 ・今までの公民館の役割を残して欲しいです。気軽に出入りしていた、徒歩で来れる感じの雰囲気の場所作りをお願いします。 ・年齢に関係なく利用できるようにする
<p>中央と地区の役割分担</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郡中地区公民館と中央公民館との区別がよくわかりません。新しい公民館ができるまでは活動はどうしたら良いか、心配です。 ・公民館設置条例により、市内の6地区公民館と中央公民館を設置することになっており、今回は郡中地区単独の公民館の機能とすべきことである。 ・中央公民館の機能は、新市庁舎の中に事務局を置くこと。 ・郡中公民館の事務所をどうするか(閉館中にふるさを創生館におくとか) ・中央公民館は、特色がある公民館事業や地域振興に伴う事業を主体的に行っていないので、施設はなくてよい。中央公民館組織の機能があれば良いことである。 ・双海、中山、南伊予の公民館には多目的スペースなどの施設はないが、中央公民館があるから我々は納得している。(第5回) ・郡中にはふるさと創生館も彩浜館も、さざなみ館もあり、見方によっては全部が公民館。(第5回) ・ここに中央公民館が入っているから我々も認めている。地区公民館だけならバレーボールが出来て、卓球が出来るようなことは許せない。(第7回)

2. 事業

<p>市民が講師となり交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・若い人達とお年寄りが一緒に遊べる、「お年寄りと仲良くなるろう会」のようなもの、昔のコマやケン玉、折り紙などを一緒にしたらよいかあと思えます。 ・市民一人一人が講師になって、いろんな教室をしてはどうだろう？ ・市民有識者を利用した講座の開設。 ・世代間が交流できる教室を開く。
<p>いろいろな教室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が幅広く文化、スポーツ、両方の教室に参加できるようにしてほしい！(エアロビクスetc) ・和室で書道教室を開いたり、料理研修室で料理教室をすると、利用者が多くなると思う。 ・「絵画・陶芸教室」その道の達人を招いて、一般の人が学べるようなイベントにすると良い。 ・「調理室」月1回などに定期で料理の講習会を開くと良いと思う。 ・アトリエ2で料理教室を開いたらいいと思う。(郡中小) ・アトリエ3で工作教室を開いたらいいと思う。(郡中小) ・和室でできるゲームみたいなことを1区画に置けばいいと思う。(郡中小) ・(多目的スペースについて)月に1回ぐらいイベントみたいなことをすればいいと思う。(郡中小) ・(多目的スペースについて)小さい子のために、おもちゃをおいたらいいと思う。(郡中小) ・(多目的スペースについて)月間のイベントを企画したらいいと思う。(郡中小)
<p>気軽に学習・参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的な文化学習(体験)イベントの実施。 ・参加費用があまりかからなくて楽しめるイベント、講習会など、出来上がった施設の利用率を上げる。 ・アトリエを使った各種教室の充実。
<p>他施設との連携・分担</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バレーやバスケットは体育館へ。ダンス、舞踏etcアートへの開放。 ・郡中地区の活動が複合文化施設の活動→特定の人だけの利用でない使い方。 ・公民館の諸機能は、図書館機能の一部。一体的運用を！
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・リソグラフ等の自由使用(紙は持ち込み)。 ・コピー機、印刷機が安い費用で使えるように。 ・自販機(飲み物、食べ物)の充実を！ ・”敬老の家”の事業ができるスペースが必要(飲食ができる) ・郡中地区公民館まつりが出来るようにすること。公民館で飲食が出来るように。毎日使用する図書館と公民館を重点にすること。

3. 利用時間・休館日

<p>時間延長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時間的分け ・時間帯を広げよう。 ・利用率向上のため、時間帯を考え、時間配分をしたらよい。 ・使用時間を長くして欲しい ・アトリエ、リハーサル、会議など、24時間OPEN
--------------------	--

第1回・第2回市民ワークショップ 運営に関するご意見のまとめ

4. 利用規則

<p>利用料金</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・無料で利用できること。 ・使用料を取る場合と取らない場合があるが、できるだけ取らないようにしてほしい。 ・使用料はどうなるのか？現在の規定で使えるのか？ ・多目的スペースで格安で、バスケットボールや卓球などのスポーツができると良い(学生に優しい!!) ・使用料は市民とそれ以外で違うのか。市民にはメリットを…？ ・建設中の利用者の代替施設の料金を安く。 ・公民館利用に関して、利用者の負担金は増えないのか。
<p>利用規則</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・飲食のできるスペースを！(公民館まつり) ・飲食ができること。 ・グループで集まって懇親を深めるための飲食ができるスペースを!! ・公民館の枠から離れて、図書やアート関係の使用もできるように柔軟に。 ・予約以外にその日に行っても、空いている部屋があれば貸し出してくれるようにしてほしい。 ・会議室(公民館)については、市役所の活用も考えられる。市内施設の利用状況や予約etcトータルで検索でき、予約できるようなシステムも考えよう。「だれでもわかりやすい」使用をみんなで考え合しましょう。 ・利用団体の利用制限をかける。競合した場合は前回の利用から遠い方の団体を優先する。(第5回) ・1年間分の予約を団体が取ってしまうのをやめ、何ヶ月かごとの予約にする。(第5回) ・予約のスケジュールを一覧表にして公開せよ。(第5回) ・現在の大会議室はスポーツ団体が既得権的に利用しているイメージがあります。予約のルールを考える必要がある。(第5回) ・調整会議を開き、不公平のないようにすべきだ。(第5回) ・市民誰にでも平等に開かれている場でなければならない。年度の初め(或いは終わり)に市民(組織・団体)から利用の希望と計画を出してもらい、偏らぬように調整する(場をいくつかに分けたり、時間設定をしたりすればよい。)(第5回) ・特定者以外にも利用できるよう、申し込みに方法を。(第5回) ・特定の団体の利用で他の利用が全くできないのはダメ!!にか良い方法はないか?(第5回)

5. 運営組織

<p>民間活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営は民間に任せて欲しい。準公務員の人間では融通が利かない。 ・運営を天下りではなく天上がりに。民間の知恵を運営に。 ・天下り的なスタッフの配置では良くならないことも多いのでは？ ・運営は元学校の先生が官庁なのは、次代に合わないのでは？土日、夜も利用しやすく！
<p>一体的な運営</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館については、施設と運営は区別すること。一元的管理をするには制度的に見直すべき。 ・図書館、文化ホール、公民館の管理者は同一にしなければ利用しづらいのでは？ ・運営は同じ施設内でつながるよう、一元化を願う。
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館事業と考え、公民館及び社会、体育の職員が行えば良いのでは。 ・スタッフの充実を(土日)。 ・サービス業だ！という認識

6. 市民の関わり

<p>市民参加</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・役所の中に市民活動を支援する部署をつくる。 ・公民館を運営するには多くの職員では無理。多くのボランティアが必要だ。 ・運営費が大変になるので、特技のある退職者はボランティアでどんどん發揮したらいいのでは。 ・公民館主事が昔は地域の若者達と親交があった。これから昔の青年団活動をしていた人が、人材を育てていけるようなシステムを作る。(第5回) ・市民参加の公民館活動は大いに賛成。(第5回)
--------------------	---